

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5-Ⅲ-3

5-Ⅲ-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	グリーン・ブルー・ツーリズム等の推進
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	3 グリーン・ブルー・ツーリズム普及促進	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県観光企画課、新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、佐渡市農業政策課、佐渡市農林水産課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業概要	【事業目的】 ○ 都市住民の多様なニーズに対応したグリーン・ブルー・ツーリズムの推進により、滞在型観光客の増加とリピーターの確保並びに農村環境の整備と地域活性化を図る。 【事業内容】 ○ 関係機関と連携を図りながらコンテンツ(プログラム)の明確化を図り、ターゲットを絞った戦略的な広報を行う。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 農山漁村体験コンテンツによるリピーターの増加		
これまでの取組実績	○ 農村ホームステイとして、民泊体験を県内小学校を中心に推進した。 ○ 教育体験旅行ガイドブックにより、近隣県へのセールス活動を行った。 ○ (株)スノーピークと連携しローカルウェアツーリズムを実施した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 小学校を対象とした農村ホームステイを実施する。 【R6年度実績】 ● 佐渡観光交流機構では、島内5校、島外1校 計92名を受け入れた。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ B ・ C] ◇ 農村ホームステイを実施することができた。今後も継続的に取り組むこととする。		
課題	■ 高齢化により受入先が減少しており、新規受け入れ先の確保が必要		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。